

事象を時系列で捉える画像活用事例

～天気の変化を連続的に捉える～

取組の 難易度	(準備) ★ ☆ ☆		
	(教員の I C T 活用能力) ★ ☆ ☆		
校種・学年	中学校・2 学年		教科等
ICT を活用した 学習場面	A1 教員による教材の提示 B1 個に応じる学習 B3 思考を深める学習	領域・ 分野等	理科 第 2 分野：気象とその変化
ICT 機器等の 準備等	準備	画像データの作成	
	授業	PC、タブレット端末等	

1 事例の概要

中学校 2 年生の「天気の変化」の授業において、天気図と雲画像のデータを並列させた複数枚の画像をタブレット端末で確認しながら、低気圧や前線が時系列で変化する様子を視覚的に捉え、思考できるようにした。

※利点○、配慮事項●

2 ICT 活用の利点や配慮事項

○時間の経過とともに天気に変化していく様子を視覚的に捉えられ、学習への動機付けや主体性を喚起できる。

○過去や最新の天気図や雲画像を簡単に入手できる。

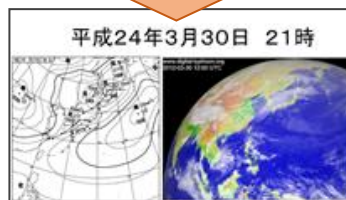
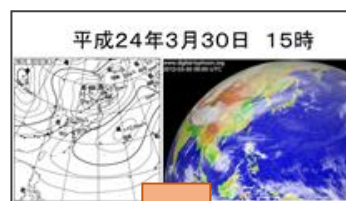
●特になし

3 資料

○天気図と、その時刻の雲画像を並列させたスライドを時系列で複数枚提示し、低気圧が変化していく様子などを連続的、視覚的に捉えられるようにした。

* 天気図は、気象庁 HP (<https://www.jma.go.jp/jp/g3/>) より
雲画像は、国立情報学研究所 HP「デジタル台風」
(<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/>) より入手

○グループごとに、タブレット端末でそれらの資料を見ながら低気圧や前線のある地点の天気などについてポイントを絞って話し合わせることで、天気の移り変わりについての思考を深められるようにした。



タブレット端末